

大津 エンパワ ねっと通信



学生力 融合 地域力

龍谷大学「大津エンパワねっと」は
学生と地域が協働してまちづくりに取り組むプログラムです。

〒520-2194

滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5 龍谷大学瀬田キャンパス内
大津エンパワねっとオフィス(2-202教室)
TEL:077-543-7691 FAX:077-543-7615
E-mail:shakaigp@ad.rukoku.ac.jp
【ホームページ】<http://www.soc.rukoku.ac.jp/gp/index.html>

TOPICS

2010年度 「地域エンパワねっと実習Ⅱ」報告会 開催！！

「地域エンパワねっと実習Ⅱ」では実習Ⅰで学んだことを活かし、地域のみなさんと協力し、より考察を深め地域の課題解決に取り組んでいます。(活動の詳細は裏面をご覧ください。)

こうした活動を通して学生が得た気づきや学びを発表・報告させていただく「**地域エンパワねっと実習Ⅱ報告会**」を実施いたします。ぜひとも多くのご参加をいただき、次世代の学生につないでいけるよう、ご助言、コメントをいただければと願っております。

●日時：2010年9月23日（祝・木）

(報告会) 10:00~12:20

(懇親会) 12:30~14:00

●場所：大津市旧大津公会堂

3階ホール

※報告会のみのご参加でも結構です。資料等の準備の都合上、事前にお申し込みいただければ幸いです。

◆問い合わせは…大津エンパワねっとオフィス (077-543-7691) まで。

→2009年度実習Ⅰ報告会の様子



TOPICS

2010年度 「地域エンパワねっと実習Ⅰ」履修説明会を行いました！

去る7月5日・6日に「地域エンパワねっと実習Ⅰ履修説明会」を開催しました。後期(9月末)から始まる「地域エンパワねっと実習Ⅰ」を受講したいという意欲的な学生が延べ89名集まりました。

現在活動中の3年生がアドバイザーとして参加し、後輩のさまざまな疑問や不安に答えてくれました。こうして想いを引き継ぎ、新しい展開をしていく学生が出てくるのですね。楽しみです！



↑エンパワの取り組みについて話す3年生

スケジュール・お知らせ

8・9月

④ 地域エンパワねっと実習Ⅰ 受講者発表

9月7日(火)

学内メールアドレスで発表します。

⑤ 夏期閉室のお知らせ

ロロン
町家キャンパス龍龍

大津エンパワねっとオフィス(瀬田)

8/7(土)～8/23(月)まで

夏期閉室いたします。

⑥ 2日(月)：大津エンパワねっとを進める会・瀬田東

⑦ 6日(金)：学内エンパワねっと推進会議

⑧ 7日(火)：地域エンパワねっと実習Ⅰ受講者発表

⑨ 23日(祝・木)：地域エンパワねっと実習Ⅱ報告会

⑩ 24日(金)：地域エンパワねっと実習Ⅰ授業開始

⑪ 27日(月)：大津エンパワねっとを進める会・中央

<⑫ 8月の予定 ⑬ 9月の予定 >

NEWS

地域エンパワねっと実習Ⅱでの活動の様子と学生たちの声(感想)を一部ご紹介します。

□地域と学生をつなげよう



←田植え体験などのイベントに参加
龍大生に瀬田東でのイベントに参加してもらい、地域と交流するきっかけを作る取り組み。

- ♪地域活動に興味を持つ学生に、参加するきっかけを提供できた。
- ♪小学生の友達ができたり、地域の人達と深く関わることができた。

□地域のいいところを

地域の人と一緒に再確認
瀬田東に最近引っ越してきた方にも、昔から住んでいる方にも呼びかけて、瀬田東のいいところを共有する取り組み。瀬田東ウォーキングを企画中。

- ♪自分の考えや思いを妥協せずにメンバーに伝える力が向上した。
- ♪私達の問題意識に対して地域の方が共感してくださったときは嬉しく、自信につながった。

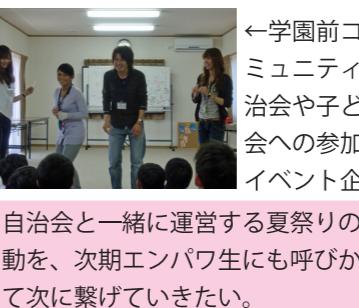
□子どもの健全育成に携わる

竹細工イベントなどを通じて自然の中でシニア・親・子の三世代の交流をはかり、子ども達の笑顔、満足感、思い出作りに携わる取り組み。

- ♪イベントひとつを企画するとの大変さ、様々なことを想定し、それについて対処していくこと、グループの大切さを実感できた。
- ♪目標が明確化してきたため、グループ内のモチベーションが上がってきましたように感じる。

□瀬田東学区

□子どもの力を地域の力に
地域を知り、密着し、住民目線で地域づくりを知る取り組み。



- ♪自分に近いところから取り組むことも大切な視点であることに気付いた。
- ♪自治会がつくられていく過程に参加させていただく貴重な機会を大切にしたい。
- ♪一歩ずつ信頼関係を持つことが大切だと気付かされた。

地域の方のご協力を
いただきながら、今こんな風に
進めています。

今までの取り組み状況や学生の声
(感想)をまとめました。



■世代間交流の実現

世代間交流、近所づきあいの促進をテーマに下百石町ふれあいサロンにて活動。落語の紙芝居イベントなどを企画し、世代間交流の場をつくっている。

★地域の実情、生の声、本心を汲んだ上で適切な企画内容を進行するのが難しかった。

★明確なビジョンを描いてそれに向かって段階を踏み、自然な流れで世代間交流をつくりたいと思った。

■中央地区の内からの活性化

百町市に来てくれる人を増やし、そこから商店街など地区全体へと人の流れをつくる取り組み。百町市を基点として、中央地区全体を歩いて楽しんでもらうための情報誌も制作している。

★内からの活性化のためには、百町市内に限らず、中央地区の周遊性をつくっていく必要があることを感じた。

★積極的に店探しをして、情報誌の内容を濃くしていきたい。

■情報発信→参加機会の提供

ホームページ等ですばやく情報を発信し、引っ越してきた住民と、昔から住んでいる住民がお互いを知るきっかけを提供する取り組み。

★計3団体のホームページを作成していく中で、「興味はあるが、参加しない方々のニーズを把握できていない」など問題の根源が見えてきた。

★各団体と情報確認を取ること、一緒に伝えていく大切を感じた。

■中央地区

■まちの縁側づくり

人々が自然に集う「まちの縁側」づくりについて、学生と地域の方々が一緒に学んで深めていく取り組み。



←町家キャンパス
「龍龍(ロンロン)」

★龍龍でイベントを開催し、地域の方々に来てもらい学生との交流をしていきたい。

■子ども達が

地元をもっと好きになる
環境学習や文化学習を通じて、次世代を担う子ども達に地域、歴史、文化に興味や関心を持ってもらおうという取り組み。

★思ったこと、考えしたことなどをメンバーの中で積極的に発言するように取り組めた。

★活動がすごく楽しいし、エンパワを通して「地域」について考えることがより好きになった。